

お住まいの地域の **診断** してみませんか？

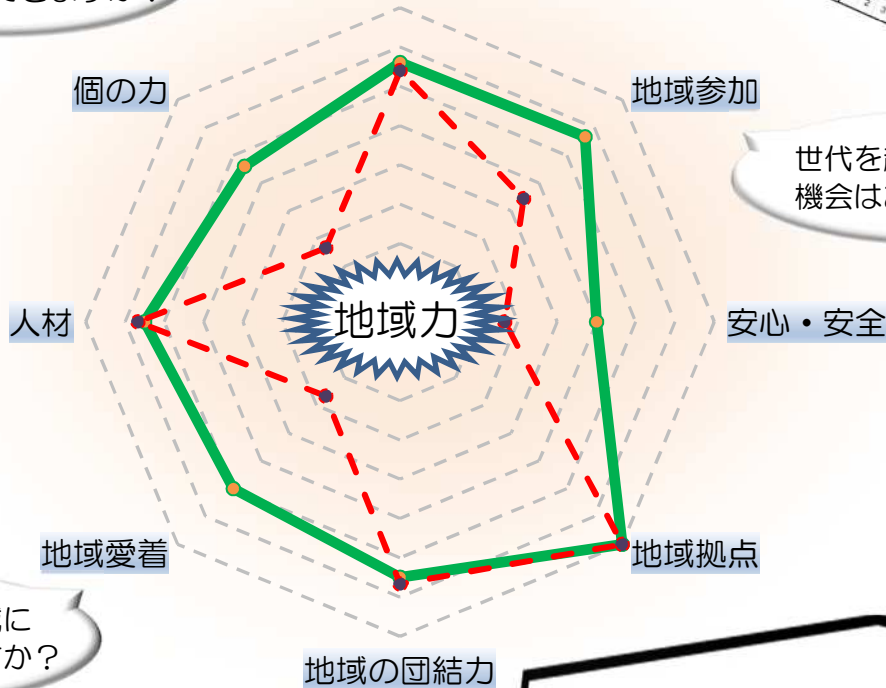
地域自己診断ツール

ちいきのちからシート

を活用した地域づくりのススメ

近所で気軽に
あいさつできますか？

多様な繋がり



世代を超えて交流する
機会がありますか？

今お住まいの地域に
住み続けたいですか？

「ちいきのちからシート」とは？

◎ 地域の現状や課題を可視化するツールです。

・質問に答えることで、「地域住民が協力し合って地域の課題を解決する力」＝**地域力(上図)**を計り、地域の現状や課題を共有し、地域づくりのキッカケとするためのツールです。

◎ 地域の様々な団体で活用できます。

・町会・自治会の役員内や世帯単位、老人会、子供会、サロン、サークルなど、様々な地域単位で使用できます。
・定例会、会議、サロンの企画など、地域の方が集まる機会に活用してみましょう。

- ・自分達の地域に何が足りなく、どんなことから始めたらいいかわからない…
- ・地域の課題をみんなで解決したい！
- ・みんなが自分の地域のことをどう考えているのか知りたい！

そういった地域での地域づくりのキッカケになるよう作成されたのが、**地域自己診断ツール「ちいきのちからシート」**です。



禅寺丸柿キャラクター「かきまるくん」

地域自己診断ツール「ちいきのちからシート」を活用した地域づくりの一例

1 住民ニーズと地域課題等の分析

「ちいきのちからシート」の活用

<目的（目標）>

- ◎地域の特徴や課題を共有し、自分たちができることを考えたい！
- ◎地域のみんなでこれからの地域づくりを考える機会を作りたい！
- ◎住民一人ひとりが、身近な地域の課題を自分事（我が事）として認識するきっかけにしたい！
- …など、自分たちの地域のことを考えるきっかけづくりになります。

<回答>

- ・集会など、対象者が集まる場で回答様式に記入します。
- ・インターネットによる回答もできます。

<集計>

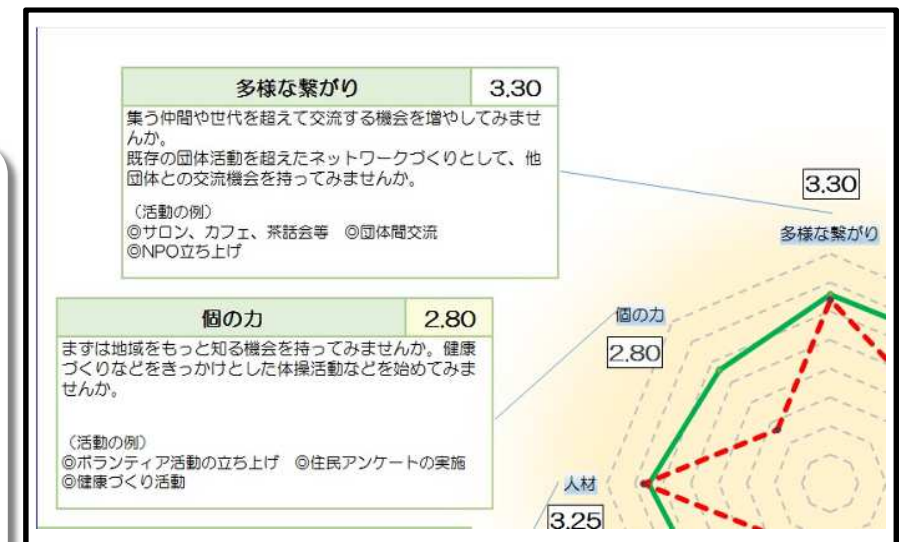
- ・区役所職員等が集計を行います。

地域の特徴や課題の共有（ワークショップ）

- ・区役所職員や地域の専門機関から、「地区カルテ（※）」等を使用して当該地域の統計情報から分かる特徴や地域資源、課題等について説明し、シートの集計結果（①）をお渡しします。
- ・参加者同士で地域の強みや弱みを話し合い、地域課題を整理・共有します。

※例えば…

- ◎地域で自慢できること
- ◎地域にあるもの、足りないもの
- ◎地域に何があるといいか
- ◎何かできそうなことはあるか など



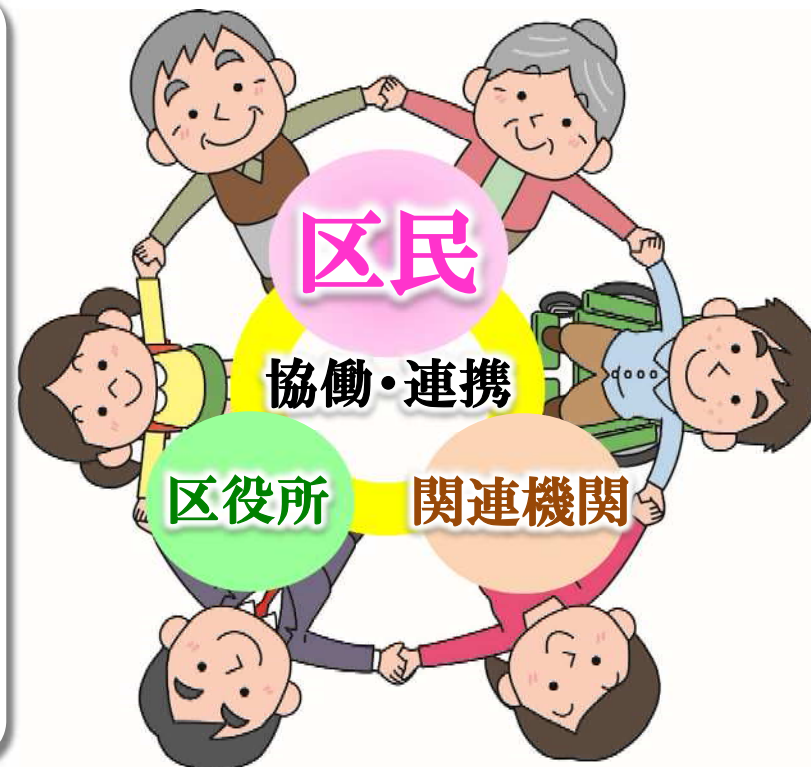
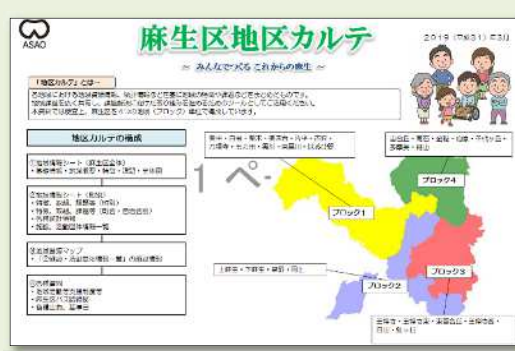
▲①「シート集計結果」
「個人」の地域力と回答者全員から算出された
「みんな」の地域力分析結果が出ます。

5 情報収集 情報集約

- ・共有した地域の特徴や課題、分析結果、新たに行われた取組は、行政において「地区カルテ（※）」に反映し、市民・行政・事業者間等で共有し、今後の地域づくりの参考とします。

（※）「地区カルテ」とは？

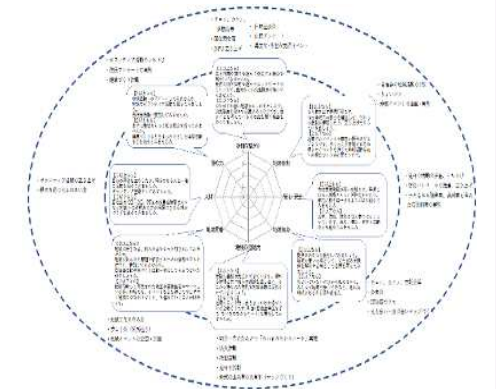
「地区カルテ」は地域住民と、小地域ごとに基本的な統計データや地域資源情報を共有し、地域の特徴や課題について話し合い、合意形成を図っていくためのツールとして作成するものです。把握した地域課題は関連する行政計画の策定に際して、今後の施策展開の参考としていきますので、「地区カルテ」の情報は随時更新することが大切です。



2 課題特定 優先順位の整理

- ・講師（大学教授等）から、ワークショップで出てきた地域の特徴、強みや弱み、地域課題について、専門家の知見に基づいたアドバイスがあります。（※）
- ・「実践に向けた気づきシート」（②）から、シートの集計結果（①）で出てきた各要素の強みの部分を繋ぎ合わせて新しいメッセージを作ってみたり、弱みの部分をつなぎ合わせて新しいメッセージを作成してみましょう。

（※）講師の都合等により派遣できない場合があります。



▲②「実践に向けた気づきシート」

4 住民主体のアクション（行動）

例えば…

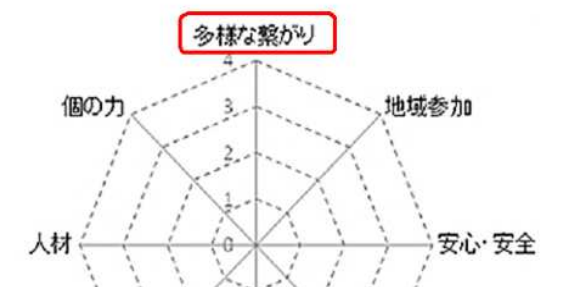
- ◎「地域の繋がりづくりとして、多世代交流イベントをしよう！」
- ◎「みんなが気軽に集える場（サロン）を作ってみよう！」
- ◎「近年開催されていなかったお祭りを再開しよう！」
- ◎「みんなの防災・防犯意識が高いので、活動を強化しよう！」など

実施された取組は、行政等が様々な媒体によって広報し、その活動を地域全体に啓発していきます。行われた取組一つ一つが繋がり、輪として広がっていきます。

3 課題等へのアクション（行動）の検討

- ・地域の資源や住民の関心事などを考慮した実現可能なアクションを検討します。
- ・取り組むべきアクションを実践する参考マニュアルとして「取組モデルシート」（③）があります。マニュアルには「サロン等立ち上げ編」「見守り活動編」「支え合い・助け合いマップづくり編」「健康づくり活動編」などがあります。
- ・市や関連機関等における支援や補助金制度を上手く活用しましょう。

「サロン、カフェ、茶話会等」の立ち上げや参加推奨モデル
つながりが不足していると感じていたり、個の力や人材、愛着、団結力、そして拠点があるならば、思い切って「サロン、カフェ、茶話会等」（以下サロン等と表記）を立ち上げたり、活性化させていくなどの方法がありそうです。



▲③地域活動実践マニュアル「取組モデルシート」

「ちいきのちからシート」活用実績

これまで様々な地域でシートを体験し、地域づくりに繋がった例もありました♪
その活用実績の一部をご紹介します。



実施地域	主な対象	結果
高石	サロン等	・防犯パトロールがなく、必要性を検討するきっかけとなった。
千代ヶ丘など	その他	・自分の住む地域に対する理解を深めることができた。
東百合丘	町会・自治会等	・回答者の年代によって、意識の差があることがわかった。 ・例年行事について、身近に感じられるような企画内容を検討するきっかけになった。
下麻生	町会・自治会等	・「地域の役に立ちたいと考えている人は多くいるが、その人材を活かしきれていない」等の課題認識を地域の関係者で共有。 ・地域における顔の見える関係づくりを推進していくため、新たな団体を立ち上げた。
王禅寺西	町会・自治会等	・ネットワークを構築したり、若い世代を交え、興味あることや楽しいことをしたい。 ・地域内の事業所と協力・連携して勉強会などを開催したい。 ・回覧やアンケートで困っていること・やりたいことを募ってみたい。
王禅寺東	町会・自治会等	・新しく住み始めた人に対し、地域活動に参加してもらえる機会をつくりたい。 ・情報発信の方法について、自治会役員内で検討するきっかけになった。
白山	町会・自治会等	・地域全体として、みまもり活動の共通認識が高まるといい。
虹ヶ丘	町会・自治会等	・合同イベントやコミュニティルームの活用方法、活性化に向けた検討をしたい。

※令和4年3月末現在

実施の様子

地域自己診断ツール「ちいさのちからシート」回答様式

団体(組織名) 代表者(氏名) 年代 職業 結算時期	お住まいの都道府県 性別 ① 男性 ② 女性 ③ その他 ① 19歳以下 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代 ⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上 ① 営繕員・管理運営など ② アルバイトなど ③ 専業主婦(主夫) ④ 学生 ⑤ 無職 ⑥ その他 ① 1年未満 ② 1～5年未満 ③ 5～10年未満 ④ 10～20年未満 ⑤ 20～30年未満 ⑥ 30年以上
--	---

※ 団体(組織)は7桁

(※)「結果シート(個人)」での結果発表表示のため外しています。

◎あなたの考えに一番近いものを各項目、数字をぬりつけてみてください。

◎回答の「思う」「思わない」は簡単にあてて「知っている(分かる)」と知らない(分からない)に読み替えてください。

多様な繋がり	あまの思わない	やや思う	思う	思わない
1 となり近所の人と繋がる機会に恵まれていますか。	①	②	③	④
2 近所で集まったり、おしゃべりなどを各する時間がいりますか。	①	②	③	④
3 家族以外で、近所の人と相談したり助け合っていますか。	①	②	③	④

▲各自、「ちいきのちからシート」に取り組んでいただきます。



▲シートを提出いただき、結果をまとめて、「地域の強み・弱み」や地域の特性を分析し、みんなのちからシートを作成します。



▲集計・分析した結果をもとに、
”どんな地域にしたいか” ”実施したい取組”
について、地域の皆さんで話し合ってみます。

実際の取組や話し合うきっかけにつながった一例

- 防犯パトロールに向けた検討
- 見守り活動に向けた調査
- 茶話会の開催

など

ぜひやってみたい、
もっと詳しく知りたい方は、
表紙の連絡先まで
お気軽にお問い合わせください♪



ホームページ
公開中！

「ちいきのちからシート」の回答様式
なども掲載しています。ぜひご覧ください。

麻生区 ちいきのちからシート

Q 檢索

